



第2回 関東U-15フットサル選抜大会 実施要項

- 1 名称 第2回 関東U-15フットサル選抜大会
- 2 主催 一般社団法人関東サッカー協会・関東フットサル連盟
- 3 協力 一般財団法人日本フットサル連盟
- 4 協賛 株式会社アスレタ「ATHLETA」、株式会社イミオ「SFIDA」
- 5 主管 関東フットサル連盟ユース専門委員会・群馬県フットサル連盟
- 6 期日 2024年8月14日(水)
- 7 会場 ヤマト市民体育館前橋
- 8 参加資格
 - (1) 2024年度一般財団法人日本フットサル連盟(以下、「日本連盟」とする。)に加盟承認された都県フットサル連盟の選出チーム(以下、選抜チームとする。)であること。
 - (2) 参加チームは、前号の都県フットサル連盟に加盟するチーム2チーム以上から選抜された選手により構成されたチームであること。
 - (3) 第1項のチームに登録された選手であること。
 - (4) 第1項のチームに登録された選手は、公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。)に「サッカー2種または3種」、「フットサル1種、2種または3種」の種別で加盟登録されたチームに所属する2009年4月2日以降、2013年4月1日以前に生まれた選手であること。
 - (5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (6) 選手登録人数は、7名以上 20名までとし、役員は1名以上(監督)8名までとする。
 - (7) 外国籍選手は1チームあたり3人までの登録を認める。
 - (8) 参加チームは傷害保険(スポーツ安全保険等)に加入していること。
 - (9) 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる20歳以上の者であること。
- 8 参加チームとその数
 - (1) 参加チーム数は、6チームとする。(1都5県)
- 9 競技形式
 - (1) グループリーグ後、決勝戦を実施し、優勝以下順位を決定する。
 - (2) グループリーグは、3チーム/2グループで実施する。
 - (3) 各グループ1位のチーム同士で決勝戦を行う。
 - (4) グループリーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
勝点は、勝ち3、引分け1、負け0、不戦敗-1とする。
ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
ア) 当該チーム間の対戦成績
イ) 当該チーム間の得失点差
ウ) 当該チーム間の総得点数
エ) グループ内での総得失点差
オ) グループ内での総得点数
カ) 下記に基づく警告、退場のポイントがより少ないチーム
 - ① イエローカード1枚
 - ② イエローカード2枚によるレッドカード
 - ③ レッドカード1枚
 - ④ イエローカード1枚に続くレッドカード
キ) 抽選
※「当該チーム」とは、グループ内で勝点合計が並んだチームのことである。
 - (5) 放棄試合が発生した場合、不戦勝チームに得点5点を付し、不戦敗チームには得点0点を付す。
- 10 競技規定
大会実施年度の日本協会フットサル競技規則に則る。
但し、以下の項目については、本大会の規定を定める。
 - (1) ピッチ
原則として、40m×20mとする。
 - (2) ボール
使用球: 日本サッカー協会認定のフットサル用ボール

- (3) 競技者の数
- ① 交代要員の数: 9名以内
 - ② ベンチに入ることができる人数: 14名以内(交代要員9名以内、役員5名以内)
 - ③ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2名以内
- (4) 競技者の用具
- ① ユニフォーム:
 - ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ウ) フィールドプレーヤーとして登録された選手がゴールキーパーに変わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判断が容易なサイズのものでなければならない。
 - オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - カ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。但し、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。
 - キ) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ク) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ケ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - コ) ゴールキーパーがトラウザー(スウェット)を着用する場合は、ゴールキーパーユニフォームの正・副のショーツと同色のものとし、パンツに選手番号がある場合は、必ずトラウザーにも、選手番号を付けることとする。タイツの使用は認めない。
 - サ) ユニフォームの色、選手番号およびデザインについて、エントリー受付以降の変更は認めない。
 - シ) その他、ユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。
 - ② 靴: キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズまたは体育館用シューズタイプのものとする。但し、ノンマーケティングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。
 - ③ ビブス: 交代要員は、競技者と異なる色(2色)のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (5) 試合時間
- ① 30分間(各15分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。
- (6) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)
- ① グループリーグ: 引き分けとする。
 - ② 決勝戦: PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- (7) 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合開催不能又は中止となった場合(不戦敗等) 帰責事由のあるチームは 0 対 5 で敗戦したとみなす。
- (8) チーム役員については、事前に大会登録されている最大8名の中から5名を越えないチーム役員が、試合登録され、ベンチに入ることが認められる。
- (9) 試合登録においてチーム役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。
- (10) 試合開始時に最小3人の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおりとする。
- ① 試合開始(第1ピリオドキックオフ)後、ピッチに到着した場合
その競技者は、第1ピリオドは出場できず、ベンチに入ることもできない。(以後は②に該当)
 - ② 第2ピリオド開始前、ピッチに到着した場合
試合開始後から第2ピリオド開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると、第2ピリオド開始時よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。
 - ③ 第2ピリオド開始後、ピッチに到着した場合
その競技者はその試合に出場することはできず、ベンチに入ることもできない。
 - ④ 役員・コーチも同様とする。

11 懲罰

- (1) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については日本協会「懲罰規定」に則り、その処置を県協会フットサル部会規律フェアプレー委員長が決定する。
- (3) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式戦にて消化する。但し、警告の累積によるものを除く。

12 組合せ

本大会の組合わせは、開催県フットサル連盟において決定する。

17 表彰

優勝・準優勝のチームには、賞状を授与する。